

## 小児医療費適正化推進本部設置

# 減らそう！！医療費

平成20年度以降、小児医療費が増加の一途をたどり、市の財政運営を圧迫しています。この危機的状況から脱却するため、「総社市小児医療費適正化推進本部」を設置。適切な受診や健康の増進による医療費の削減策を、保健・医療・福祉・教育が連携して考え、行動に移していきます。



総社市小児医療費適正化推進本部会議。この日は小児医療費の現状や市民に医療費削減の行動を促す方法などについて協議された。今後は削減目標や制度の見直しなど、具体的な方策を議論していく

医療機関で支払う小児医療費を無料にする対象を拡大した平成20年度以降、市が負担する医療費が増加の一途をたどり財政運営を圧迫。このまま医療費が増え続けると、小児医療費の無料化制度を維持できない状況に陥ることになります。この危機的状況から脱却しようと1月31日、「総社市小児医療費適正化推進本部」を立ち上げました。同本部は、市長を本部長に、岡山県立大学保健福祉学部の准教授、吉備医師会、

### 適正な受診に協力してください！

#### 予防接種・健診を受けましょう

予防接種で病気を予防。定期健診を受け、子どもの健やかな成長を見守りましょう。

#### 休日・夜間診療は救急患者のために

薬は1日分しかできません。救急でない場合は翌日にかかりつけ医を受診してください。



#### かかりつけ医をもちましょう！

日ごろからの体調管理が大切です。

#### 受診は昼間に

早めの受診、時間内の受診に協力してください。

吉備歯科医師会の医師、薬剤師会吉備支部の薬剤師、小学校、幼稚園の教諭、保育所の保育士、保護者など13人の委員で構成。保健・医療・福祉・教育が連携して医療費を削減する対策を進めていきます。

医療費を削減していくかを議論しました。委員からは、「適正な受診や健康増進の方法を親へ教育する必要がある」「地域単位でミーティングをしてみてもいい」などの意見が出ました。市では、これらの意見を踏まえ、市民に行動を起こしてもらえるよ



小児医療費受給資格者証。はしご受診やコンビニ受診はやめましょう

う、関係機関と連携して取り組んでいきます。問い合わせ ことも課子育て支援係 (☎82268)

### 救急医療適正利用講演会

#### 「こどもの急病の見かた・お家でできること」

「本当に救急医療が必要な状態ですか?」、「病院に行く前に適切な対応ができていましたか?」。子どもの異常に早く気づき、不要な心配をしないで対応するためのアドバイス。

日時 3月13日(水)、午後1時30分から3時10分まで

場所 総合福祉センター

講師 倉敷中央病院小児科部長 桑門克治先生

参加費 無料

その他 託児を希望する場合は3月8日(金)までに申し込みください

申込先・問い合わせ 健康づくり課健康増進係 (☎92-8259)

## 総社市が自立していくための独自政策を研究 地方主権戦略会議発足

国に集中している権限や財源を地方に移す「地方分権改革」にいち早く対応し、総社市が自立していくための独自政策を研究する「地方主権戦略会議」が2月1日に発足しました。

地方主権戦略会議とテーマごとに分かれた5つの戦略チームで組織。市長、副市長、教育長をはじめ、部

長をリーダーとした市職員総勢66人で構成します。

2月14日、第1回全体会議を中央公民館で開催し、これからの目標や課題について意思統一を図りました。今後は会議を随時開催し、戦略的な政策提言や情報発信を進めていきます。

問い合わせ 秘書室 (☎82215)

### 地方主権戦略会議

#### 戦略チーム

- 分権情報収集発信チーム..... 国・県の情報収集と総社市流の分権について
- 「新しい公共」推進チーム..... 「新しい公共」の理念に基づく、市民やコミュニティ組織・NPOとの協働のしくみづくり
- 医療・福祉サービス戦略チーム..... 小児・高齢者に重点を置いた医療費の適正化推進
- 土地利用・産業活性化戦略チーム..... そうじゃ土地みらいマップ(仮)の作成による、地域経済活性化基盤情報の整備
- 定住促進戦略チーム..... 総社市が自立していくための人口増加政策



第1回の地方主権戦略会議の全体会議。今後は、5つのテーマに分かれた戦略チームごとに協議や調査を重ね、政策に移していく